

いと ういんど

月 太陽昇る 輝く海の 果てなき広さを 心に持とう 寄せては返す 波は時を越え 学ぼう友よ 遅しき歩みを ♪

交通安全部会では、子どもたちが安全に通学できるように、ふくろう運動や安全確認パトロールなどの活動に取り組んでいます。

ふくろう運動 毎月1回(4・5月は2回)

下校する子どもたちに声をかけながら、地域で見守る活動です。推進協のメンバーに加え、東小会(東海岸小学校の保護者会)からも多くの方が参加しています。初めての方も多く、どなたでも気軽に参加できる地域ぐるみの取り組みです。



通学路には歩行者や自転車、バイク、大型車が通ります。友だちとふざけたり、急に走り出したりする子どももいて、ヒヤッとする場面もあります。「気をつけてね」「さようなら」と声をかけると、「ありがとう」と笑顔で返してくれる子どももいて、見守る側も温かい気持ちになります。

安全確認パトロール

今年度は、6月9日の下校時と11月12日の夕刻に実施しました。通学路を中心に数名ずつのグループに分かれて巡回し、危険箇所の確認を行いました。



「竹が鬱蒼と茂り怖く感じる場所がある」「カーブミラーの不具合で先が見えにくい」「庭木が道路へ飛び出し見通しが悪い」などの報告がありました。一方で、「ひかりのアーチ運動」の効果により、街灯だけでは暗い場所が、家の明かりが届いて明るくなっているという報告もありました。

その他の活動

- 三校合同引き取り訓練(5月)での道路誘導
- 新1年生を対象とした歩行教室のお手伝い
- 市が実施する通学路パトロールへの参加

ひかりのアーチ運動

「暗い道をみんなの協力で明るい道に」を合言葉に、日没から未明まで、各家庭に玄関灯や門灯の点灯をお願いする取り組みです。より多くの家庭に参加してもらえるよう、今年度はポスターを新しく作り直し地域に掲示しました。



交通安全教室 東海岸小学校 教頭 村山智宏

今年度より、5年生を対象に自身の自転車を使用した「交通安全教室」が茅ヶ崎市市の施策として実施されました。前半は交通ルールの座学、後半は実車による訓練です。左側通行や一時停止、交差点での安全確認、発進時・停止前の後方確認、踏切での下車横断など、学んだ内容を実際に体験しました。安全に気をつけ、無事故・無違反ですね。



大人の一言が子どもを守る

東小会 会長 阿部ちづる
子どもたちが安全に登下校や、安心して日々暮らしていけるよう、私たち保護者や身近な大人が、交通ルールを日頃から口にしておくことが大事だと考えています。先日、「自分が優先だから車が来てもよけなくていい」と言う子が何人かいたので、驚いてしまいました。大人が何気なく言った言葉をそのまま言っているのかも?と思います。私たち大人の言葉やモラルは、子どもたちへの影響が大きいと感じた場面でした。一昔前では OK だったことが今では NG だったりします。今一度、交通ルールやモラルを見直していきたいものですね。

秋まつり

2025年9月27日(土)

これまで8月に開催していた「夏まつり」は、開催時期を見直し、今年度は9月に「秋まつり」として実施しました。

夏休み中は「盆踊り」や「サマースペース海岸」などの行事が続くことや、近年の猛暑の中での子どもたちの安全面、また皆さまのご負担なども考え、開催を秋に変更しました。

穏やかな気候のもと、子どもたちの笑顔があふれる楽しいひとときとなりました。皆さまのご協力に心より感謝いたします。

● 模擬店では

かき氷、ポップコーン、フランクフルト、当てくじなど、長蛇の列になり、毎年とても人気です。

パパもママも大奮闘。みんなで力を合わせて、おまつりを盛り上げました。



可愛い浴衣姿で来てくれた女の子を見つけてパチリ。秋まつりに彩りを添えてくれました。

「どれにしようかな…」と、当たりくじを真剣に選ぶ姿がなんともほっこり。いいものが当たったかな？

● 今年はお神輿もお披露目

東小学区には神社がないため、子どもたちがお神輿に触れる機会がほとんどありません。そこで、お神輿のワクワクを味わってほしいと、手作りの子ども神輿を用意しました。

初めて担いだ兄弟は、「肩がピリッとしたけど掛け声が面白かった」(お兄ちゃん)「ちょっと肩に当たっただけでもピリッとした」(弟くん)と、目を輝かせながら話してくれました。来年は、もっと賑やかに、あなたも一緒に担いでみませんか。



● 校庭でのゲームも人気でした

男の子たちに、ビーサン飛ばしが人気です。「ビーサン飛ばしで10m30cmも飛んだよ」(3年生)



「全力で取り組み、手伝ってよかった！」

一中生の皆さん

● 体育館では 工作やゲームは、どのコーナーも笑顔でいっぱい



・紙コップを使ったブーメランづくり

紙コップに好きな色をぬったり、模様を描いたりして、思い思いのカラフルなブーメランづくりを楽しみました。「見て見て!」「どんな絵を描いた?」「できたっ!」と、あちこちから子どもたちの弾む声が聞こえていました。

・特大輪投げ

大人より大きな三角コーンを目掛けて、フラフープをばーん。これが思った以上に難しく、うまく入ると拍手、外れても笑い声が広がっていました。

第2部

今年は第一中学校の演劇部の皆さんも参加しました。



今回の演目「あなたならどうする??」大金の入った財布を拾った主人公。「警察に届けるか、このまま自分のものに…?」心の中の「良い心」と「悪い心」はどちらも本当の自分。迷いながらも「自分で選ぶことの大切さ」を伝えてくれる物語です。3年生が引退し1・2年生で頑張りました。



第一中学校吹奏楽部



古田先生ノリノリのマツケンサンバ「オレ!」



「回れっ!」



羽根つき、コマ回し、かるた、あっちでもこっちでも歓声がいっぱいでした。



カオハナフラオカマルラニ
可愛いフラガールがゆらりふわり



TWINKLES
ジャンプも笑顔も全開



「風でくるくる回っちゃっても、走るのたのしいっ!」



「凧作りは子どもだけだとムズイ…」
「教えてもらったら、上手にできたよ」
「作り方もよくわかった!」
一中生の皆さんが、子どもたちのために頑張ってくれました。



かるた取り(茅ヶ崎かるた)
「百人一首も挑戦してみたいなあ」



「校長先生の顔めっちゃいいじっちゃた」
みんなの声に校長先生もにっこり

お正月遊びの会 2026年1月11日(日)

例年は寒い体育館でストーブを焚いて行っていますが、今年は朝から暖かく、子どもたちは、楽しそうに凧作りに取り組んでいました。前日から強風波浪注意報が出たため、海岸での凧あげは中止し、校庭で行いました。風向きが安定せず、凧はくるくると回ってしまい高くは揚がりませんが、子どもたちは校庭を元気に走り回りながら楽しんでいました。

凧あげのあとは、鏡開きにちなみ無病息災を願ってお汁粉をいただき、その後は羽根つき、コマ回し、福笑い、かるた取りなど、お正月遊びを楽しみました。恒例の「校長先生の福笑い」では、子どもたちが作った顔に、校長先生も子どもたちも思わず笑顔があふれました。当日は、推進協の理事や東小会、地域の皆さん、そして第一中学校の生徒7名がボランティアとして参加し、会を支えてくれました。



「わたしより先に母さんがお汁粉お替りした!」
「あんこが苦手、きなこ餅やお雑煮もあるとうれしいな」



お母さんたちがみんなのために
甘くて美味しいお汁粉つくり



サマースペース海岸

夏休み期間中、保護者が仕事などで不在となるあいだ、子どもだけで過ごす家庭を支援する事業として、今年度も「サマースペース海岸」を開設しました。

3年目となる今年度は、まちぢから協議会が主催し、東小学区推進協、海岸地区民児協、海岸地区社協が協力して運営しました。参加児童は、初年度 33 名から 2 年目 100 名、今年度は 150 名へと増え、年々関心が

高まっています。子育て世代を支える取り組みとして保護者から好評をいただく一方、施設の広さやスタッフの負担など、受け入れ人数の調整といった課題も見えてきました。

会場では宿題に取り組んだり、友だちや中高生ボランティアと元気に遊んだり、子どもたちの笑顔があふれていました。



青少年指導員はこんな活動もしています

● 青少年健全育成ポスター展示

毎年、市内の公立中学校に「青少年健全育成」の啓発ポスターの制作をお願いしています。中学生が日ごろ感じている問題意識を、自由に描いてもらっています。今年、第一中学校の浦田桜彩さんが、薬物が心身をむしばみ、人を破滅へと導いてしまう怖さを、迫力あるタッチで描いてくれました。



● 青少年指導員と遊ぼう

1月29日(木)に、東海岸小学校の少し長めの昼休み「キラキラタイム」で、青少年指導員と遊ぼうを実施しました。今回は「紙飛行機を作って飛ばそう」です。

たくさん子どもたちや先生が集まり、紙飛行機づくりに挑戦。完成した飛行機を夢中になって飛ばしているうちに、楽しい時間はあっという間に過ぎ、みんな笑顔で教室へ戻ってきました。



● 青少年指導員まつり

2月21日(土)に、茅ヶ崎市役所前広場と市民ふれあいプラザで「青少年指導員まつり」が開かれました。市内 19 の小学校区から集まった指導員たちが、ふだんはなかなかできないゲームや工作など、さまざまな遊びを紹介しました。会場では、子どもたちがお父さんやお母さんと一緒にポッチャや皿回し、ドレミパイプなどに挑戦し、笑顔いっぱいの時間を過ごしました。

プラザ東海岸(ふれあいプラザ)



「プラザ東海岸」は、放課後に小学校の体育館を開放し、子どもたちに安全・安心な遊びの場を提供しています。開催日にはパートナーさんが子どもたちを見守り、時には遊び相手となって運営を支えています。プラザにはさまざまな遊具がそろい、バドミントンやドッジボール、大縄とび、竹馬、ボードゲーム、レゴなど、子どもたちは思い思いに楽しんでいます。編み物の日やけん玉の日などもあり、季節ごとのイベントも好評です。

パートナー募集：お手伝い可能な方、ご連絡お待ちしております。 090-9208-8278(岩澤)

海岸地区のイベントに協力

東小学区推進協は、「海岸地区盆踊り」(8月17日・海岸地区まちぢから協議会)では、ポップコーン販売を担当。「ふれあいの集い」(11月9日・海岸地区社会福祉協議会)では、綿菓子や豚汁、ポップコーンの販売のほか、パフォーマンス会場の司会やバルーンアートなどをお手伝いし、来場された多くの皆さんに喜んでいただきました。



編集後記

いつも「いーすとういんど」をお読みいただき、ありがとうございます。タイトル部の写真は、東小学区の皆さんには見慣れた景色です。浜辺に出るといつでも見える何気ない景色です。波が打ち寄せてきます。サーファーがいます。烏帽子岩と大島が見えます。いつも見ていると当たり前前の景色です。でも見ていると飽きません。そしてこの見慣れた景色が私に何かを語りかけてきます。でもそれが何かわかりませんでした。皆さんも覚えがあると思いますが、茅ヶ崎をしばらく離れていて久しぶりに帰ってくると浜辺に出たくなります。そしてこの景色を見ると気持ちが落ち着きます。以前は写真の下に「EAST WIND」の文字が続いていましたが、85号からは東海岸小学校の校歌の歌い出しが載っています。私に語りかけていたのはこの言葉だったのかな。 -ようちゃん-